

各位

会社名 日本工営株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 新屋 浩明  
 (コード 1954 東証プライム)  
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長  
 中嶋 規行  
 TEL 03-5276-2454

## 減損損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年6月15日開催の取締役会において、以下のとおり、2022年8月12日に公表いたしました2023年6月期の通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 減損損失の計上

当期末の決算プロセスにおいて過去の買収を中心とした投資の精査を行い、国際財務報告基準(IFRS)に基づく減損テストを実施した結果、建築設計事業を展開している連結子会社のBDP HOLDINGS LTD. (以下、BDP社)にかかる、のれんの減損損失40億円を計上する見込みとなりました。BDP社の主要市場である英国の急激なインフレにより、減損損失の算定に使用する割引率が上昇したことから、使用価値が会計上の簿価を下回ったため、減損損失を認識しております。

#### 2. 業績予想の修正

##### (1) 2023年6月期 通期連結業績予想 (2022年7月1日~2023年6月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 145,000	百万円 11,300	百万円 —	百万円 6,700	円 銭 444.93
今回発表予想 (B)	139,400	4,400	3,800	0	0
増減額 (B - A)	△5,600	△6,900	—	△6,700	
増減率 (%)	△3.9%	△62.8%	—	△100%	
(参考) 前期連結実績 (2022年6月期)	130,674	9,065	10,800	6,579	436.98

##### (2) 修正の理由

売上収益においては、都市空間事業の国内業務およびエネルギー事業の生産部門の受注遅延や半導体等部品納品の遅延による売上収益の低迷により、前回予想を下回りました。営業利益においては、「1. 減損損失の計上」に記載ののれんの減損損失計上に加えて、コンサルティング事業において、想定以上のインフレ影響により外注費等の変動費が当初計画より約18億円増加したことおよび上記の売上収益低迷の影響等によるものです。税引前利益については前回予想発表時点では公表しておりませんが、今回の精査により業績の見込みが判明したため発表しております。

なお、2023年6月期の個別業績予想および配当予想については変更いたしません。

以上